

おかもと りゅう た
岡本 龍太さん (広島県府中町出身)

2017 年度 4 次隊 青年海外協力隊

派遣国：タンザニア 職種：コミュニティ開発

2021 年 3 月 14 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています



まき拾いの大変さ軽減

タンザニアと聞いて何が思い浮かぶだろうか。アフリカのどこかの国、マサイの人のとこかいねー。そんな感じの人もいるだろう。2018 年 3 月から 2 年間、JICA 海外協力隊としてタンザニアの農村に派遣された。電気も水道もないが人は温かく、のんびりとした毎日を送った。

タンザニアのママは料理、洗濯、掃除、水くみと忙しい。

大変さを知るために、できることは何でも一緒にやり話を聞いた。中でも大変なのはまき拾い。約 10 ㎏もあるまきを、やぶから頭に担いで 1 時間ほど運ぶのだ。

「Ryuta は力がないわね」。決してきゃしゃではない僕にママたちは笑いかけてきた。この大変さを軽減するために、まきをあまり消費しない「改良かまど」の普及を促した。新しいものだったため初めは苦労したが、最終的には 70 以上の家庭が使うようになった。

「日本について知ってる？」と聞くと、「トヨタ、イスズ、ニッサン…」と続いた後に「ヒロシマ、ナガサキ」と出てくる。歴史の授業で原爆について学ぶようだ。現在の広島の写真を見せると、みんなびっくりした。

今は WATATU 株式会社(福岡市)を設立し、タンザニアの小規模農家の課題をビジネスで解決しようとしている。資金がない小規模農家に農業の機会を提供し、一緒に農業の拡大を目指す。僕はタンザニアから「自分で考えて人の役に立つ楽しさ。人のつながりの大切さ」を学んだ。今の日本が失っていることかもしれない。両国のどちらかが上ではなく、お互い支え合える関係づくりに貢献したい。



拾ったまきを頭に載せて運ぶ女性たち